

初夏の仙塩尾根

期間：平成 28 年 7 月 16 日（土）～ 7 月 19 日（月）

種別：個人 参加者：富岡 山域：南アルプス 北部

コースタイム：

7/16 甲府駅(4:35)⇒北沢峠登山口(7:45)⇒馬の背ヒュッテ(10:15)⇒仙丈ヶ岳(12:00)⇒大仙丈ヶ岳(12:50)⇒高望池(16:00)

7/17 高望池(5:00)⇒野呂川越(7:00)⇒三峰岳(11:50)⇒熊の平小屋(13:00)

7/18 熊の平小屋(4:00)⇒小岩峰(5:00)⇒北荒川岳(6:30)⇒(8:50)⇒三伏峠小屋(13:00)

7/19 三伏峠小屋(5:30)⇒鳥倉登山口(7:00)

緑がまぶしい仙塩尾根（仙丈ヶ岳・塩見岳）を歩く。アップダウンのきついコースであるためか、連休中でも登山者が少ないコースだった。

7/16 天気：晴れ

甲府駅から広河原行のバスは、始発の 4:35 に乗る。しかし、多くの登山者が乗り、約 2 時間は立ち続けることに。そのため、北沢峠に到着した時点で疲労感がいっぱいである。

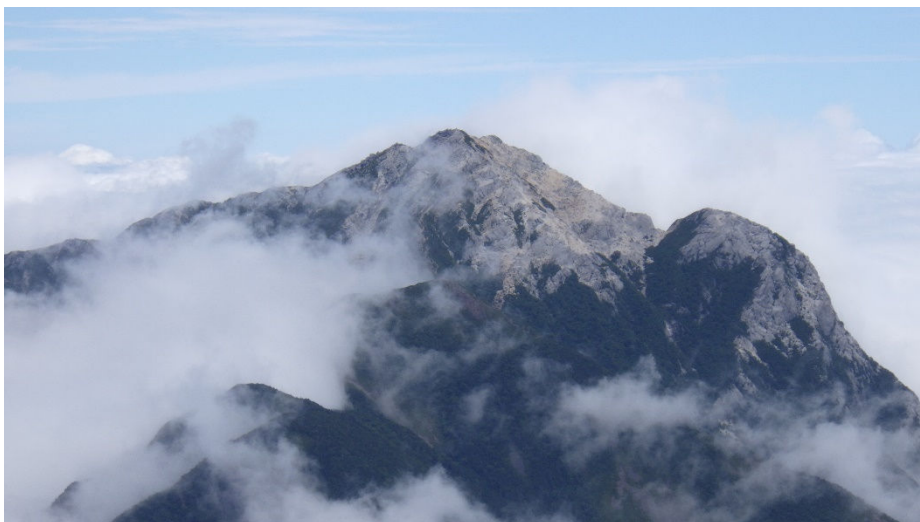
北沢峠から 5 合目を馬の背ヒュッテ側に進み、約 4 時間で仙丈ヶ岳の山頂にたつ。山頂は連休初日&晴天で賑わい、甲斐駒ヶ岳の姿もよく見える。

大仙丈ヶ岳への登山道はハイマツの中を、樹林帯の中を黙々と歩く。

伊那荒倉岳の手前にある高望池にテントが張ってある。キャンプ指定地でないが、水場もある。両俣小屋の到着時刻・疲労・天気などを考えて、私もここで一泊する判断とした。以前、この場所を利用した方のマナーが非常に悪く、直火のキャンプ・大量の缶詰のゴミをそのままにした状態だった。利用させて頂いた恩で、少々の缶詰のゴミを持ち帰る。



【南アルプスの女王 仙丈ヶ岳】



【男らしい甲斐駒ヶ岳】

7/17 天気：雨

野呂川越から三峰岳は標高差 1,000m を越える。昨日に続き、体力勝負に加えて、雨というコンディションとなる。

細かいアップダウンを繰り返し、岩尾根を登り続けると三峰岳に到着する。

山梨・静岡・長野 3 県の境界がある三峰岳だが、視界不良のために絶景を望むことができない。その後、三国平から熊の平小屋の間は風雨が強まり、疲労感

が増した。



【三峰岳、到着！】

7/18 天気：晴れ

熊の平から北荒川岳までのコースは、天望の良い小岩峰・歩きやすい樹林帯が記憶に残る。北荒川岳から大迫力の塩見岳バットレスを望む。



【北側にある塩見岳バットレス】

東峰までの登りは想像以上に長い道のりであったが、辿り着いた東峰から雲海の中に聳える立派な富士山がはっきり見える。



【塩見岳 東峰からの富士山】

西峰から甲斐駒ヶ岳・仙丈ヶ岳・間ノ岳・仙塩尾根が一望できる。塩見岳からの景色は感動的だ。西峰から桃色の岩場を慎重に下り、塩見小屋・本谷山・三伏山を経て、三伏峠小屋に到着する。



【塩見岳 西峰からの仙塩尾根】

7/19 天気：晴れ

日本一高い峠 三伏峠から鳥倉登山口まで2時間で、下山する。